



TOHOKU
UNIVERSITY

Tohoku Forum for Creativity
Pre-Program 2019

Designing the Human-Centric IoT Society

Cooperative Industry-Academic Strategies
for Creative Future Connection

Kick-off Symposium

参加無料
申込不要
(定員80名)

参加者多数の場合
先着順となります

2019 **10.22** 火 13:30 - 17:40

会場

東北大学 片平キャンパス 知の館3階 講義室
(TOKYO ELECTRON House of Creativity)

基調講演

『明日の社会の仕掛け人はあなた！』

東北大学 名誉教授
前 総合科学技術・イノベーション会議常勤議員

原山 優子

『楽天技術研究所による
「個別化時代」への挑戦とCreative AI への道』

楽天株式会社 執行役員
楽天技術研究所 代表

森 正弥

主催：東北大学 研究推進・支援機構 知の創出センター
東京エレクトロン株式会社

共催：東北大学 科学・技術と心豊かな社会研究センター (http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/contents/e1_well_being.html)
東北大学 電気通信研究所 (<http://www.riec.tohoku.ac.jp>)

協賛：東北大学 人工知能エレクトロニクス卓越大学院プログラム (<http://www.aie.tohoku.ac.jp>)



お問い合わせ

東北大学 研究推進・支援機構 知の創出センター事務局

Email : creativity@ml.tohoku.ac.jp



www.tfc.tohoku.ac.jp

Premium Sponsor **TEL** TOKYO ELECTRON

人間中心のIoT 社会をデザインする - クリエイティブな未来に向けた産学連携戦略 -

13:30 - 13:35 開会挨拶 早坂 忠裕 東北大学 理事・副学長（研究担当）、研究推進・支援機構 知の創出センター長

13:35 - 14:05 趣旨説明 堀尾 喜彦 東北大学 電気通信研究所 教授

14:05 - 14:35 導入講演 『グローバル社会におけるサステナビリティの取り組み』
荻野 裕史 東京エレクトロン株式会社 CSR 推進室室長

14:35 - 14:50 質疑応答

休憩 10分

15:00 - 16:00 基調講演 1 『明日の社会の仕掛け人はあなた!』
原山 優子 東北大学 名誉教授・前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員

休憩 10分

16:10 - 17:10 基調講演 2 『楽天技術研究所による「個別化時代」への挑戦と Creative AI への道』
森 正弥 楽天株式会社 執行役員 楽天技術研究所 代表

17:10 - 17:30 結び 直江 清隆 東北大学 文学研究科 教授

17:50 - 19:00 片平会館にて情報交換会



東北大学 名誉教授
原山 優子

明日の社会の仕掛け人はあなた！

私たちの社会を大きく変容させる力を持つデジタル・トランスフォーメーションが進行中である。例えば、日々密度を増すコネクティビティへの依存度は高まる一方で、私たちの経済活動、社会行動、ひいては日々の生活に至るまで、このコネクティビティ無しの状況を想定するのは「ミッション・インポッシブル」とも言えよう。リアルタイム・データへのアクセス、インターネットを介した取引やインターアクション、人工知能（AI）やビッグデータに裏打ちされたレコメンデーションなど、これらの行為は「当たり前」のこととなりつつある。これらの現象の観察者であることに留まるのか、あるいは、明日の社会の仕掛け人として行動するのか？

本講演が、このシンポジウムの参加者自身にとって、そして今後の行動に対してこのデジタル・トランスフォーメーションのもたらす意味を考えるきっかけになることを切に願う。



楽天技術研究所 代表
森 正弥

楽天技術研究所による「個別化時代」への挑戦と Creative AI への道

楽天の戦略 R&D 組織である楽天技術研究所では、世界 5 カ国で EC、Fintech、IoT 関連の AI 技術開発を行っております。

本講演では、「個別化時代」というインターネットの発展が人々の行動様式にどのような変化を与えているかということと、それをデータと AI によってどう寄り添っていくか道筋を明らかにし、イノベーションの創出へと繋げる為に示唆となる論点を提示したいと思います。そして今後来る「Creative AI」への挑戦についても述べます。